

教材名	Drop Tap		
部門・学部	肢体不自由部門・中学部		
対象学年	1年生	教科	全科
ねらい	・イラストやシンボルを使用することで、自発的なコミュニケーションを促す。		
使い方	・朝の会などで日直の生徒の進行に使用する。 ・授業のふりかえりなどで、生徒にイラストを選択させる。		
作り方・工夫点	・アプリでイラストを選択し、必要に応じてお音声を録音する。 ・選択肢を2つに絞って生徒が選択しやすくしたり、具体物の写真を使ったりすることで興味をもちやすくした。		
効果・改善点	・Drop Tap を使用することで、意思表示の機会が増え、生徒の自発的なコミュニケーションが広がった。		

